

# 市長と語ろう地域懇談会 記録

【日 時】平成28年11月2日（水）午後6時30分～8時30分  
 【会 場】山部支所  
 【対象地域】山部地区  
 【出席者】54人

担当部	意見・要望などの要旨	回答の要旨
建設水道部	山部市街地の排水路から河川に流れ出る樋門箇所のポンプアップは市が行うのか、それとも開発局（国）が行うのか。	<p>【建設水道部長】樋門の管理については、国の河川は開発局から、北海道の河川は富良野市を經由して各地域に住んでいる個人に委託している。樋門が閉鎖されたときの内水のポンプアップについては、現在開発局や北海道と協議中である。本来、河川管理者が主体とならなければならないが、樋門は全部で100カ所以上あり、すべての樋門について対応することは難しく、今回は特に広範囲における災害だったため、ポンプが不足する状況になった。今後は、河川管理者と協議しながら、ポンプなどの購入を計画的に行っていく。また、樋門を管理していただいている方々には改めて開閉方法の確認及び指導をしていくとともに、樋門について不具合などがあった場合は市に相談していただきたい。すべてを完璧に対応することは難しいが、できる限り市として対応したい。</p>
総務部	避難勧告、避難指示を発令するのであれば、消防のサイレンを鳴らすべきではないか。広報車の音声は走行しながらの放送であり、聞き取りづらく何を言っているのかわからないときがある。	<p>【総務部長】消防署のサイレンは火災の発生時や消防団員を召集するために使用しており、避難勧告や避難指示では使用していない。今回の山部地域における避難指示などは戸別訪問などで対応したが、サイレンの使用については再度確認する。また、詳しい情報を素早く正確に得るためにも、安全安心メールの登録をお願いしたい。</p> <p>【市長】金山ダムの放水時は、河川に設置されているサイレンを鳴らしているが、今後災害が発生した際に消防署のサイレンが使用できないか内部検討をする。災害の際にサイレンを使用できる</p>

<p>総務部</p>	<p>避難所では、避難者の出入りをチェックしていただきたい。特に避難した後に外に出て行ってしまった人をきちんとチェックしていただきたい。また、避難所にはテレビを設置したり、災害の最新情報がわかるようにしてほしい。</p>	<p>ようになった場合は、みなさんに周知をしていきたい。</p> <p>【保健福祉部長】今回の災害では、世帯ごとに避難者をチェックすることができなかったため、避難した人の管理がスムーズにできなかった。今回の反省点を活かして、今後はスムーズに管理できるよう見直しをしていきたい。また、避難者に対する情報の周知は不安な状況を取り除くためにも大切なことと認識しているので、最新情報の収集・周知方法については今後対応していきたい。</p>
<p>総務部</p>	<p>避難指示の発令から、避難指示に関するメールなどの情報をもっと短時間で周知できないだろうか。</p>	<p>【市長】避難指示の周知方法については、支所から町内会長などに連絡する方が伝わりやすいと思うので、今後は支所を通じて町内会長などに連絡する方法を考えていきたい。</p>
<p>総務部</p>	<p>田園回帰1%戦略について、具体的な対策などがあれば教えていただきたい。</p>	<p>【市長】基幹産業は農業であり、昨年、山部に農業担い手育成センターを設立し、5年間の研修期間を設けて農業の担い手育成を進めており、東山地域でも協議会を設立し、新規就農者の受け入れ態勢を整えている。こういった取り組みにより、農業者人口を徐々に増やしていきたいと考えている。また、今年度からふれあいセンター内に出会いサポートセンターを設置し、山部においては有料の婚活イベントを行い、8組のカップルができるなど一定の成果を出している。こうした取り組みによって、移住者や農業の後継者が増え、出生率も上がっていくものと考えている。また、企業誘致についても、今年度から市に専門の担当者を置いて力を入れており、ホテルなどの宿泊施設を建設する可能性があるとの話も聞いている。こうした企業が入ってくることで、若者の雇用対策にもつながるなど、さまざまな対策により人口を維持していくことができると考えている。さらに、東大演習林についても、</p>

<p>総務部</p>	<p>ふるさと納税を積極的に取り組むようだが、返礼品は富良野らしい物（資源）にしてほしい。</p>	<p>教育分野での活用を開始しており、基幹産業の農業と合わせて、さまざまな活用を検討していきたい。</p> <p>【市長】ふるさと納税については 14 品目を選定しており、今後富良野物産公社を通じてさまざまな農産品目を選定していくが、品目数も今後の状況を見ながら考えていく。</p>
<p>経済部</p>	<p>東京大学の教授がナノセルロースという小さな繊維の研究を進めている。東大演習林があることから、うまくタイアップして木材を研究するなど有効活用するような取り組みを進めてほしい。</p>	<p>【市長】東大演習林は林学が主体となっているが、お話された状況を調査したなかで検討していきたい。</p>
<p>総務部</p>	<p>ふるさと納税の返礼品のメニューに、例えばお試し住宅に住んで農業を体験するといったことをメニューに入れることは可能か。</p>	<p>【総務部長】返礼品の取り扱いができる業者については、現在 1 社となっており、富良野市を PR するなど市の考え方に沿った返礼品を提供している。品質管理の観点から、返礼品の取り扱いは直接行政が行わず、民間に協力していただいている状況であり、今後さまざまな意見や要望などを考慮した上で、返礼品を検討していきたい。</p>